

とうべつ

手にとって good 身近に

# 議会だより



No. 200

令和2年2月1日発行

記念特集号

## CONTENTS

### 12月定例会

12月定例会一般質問	4人の議員が15項目を質問	総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会	当別町150年記念事業の進め方は	とうべつ議会だより記念特集	創刊から48年 第200号を迎えました
p. 10	p. 8	p. 2			

見晴らしの水松（青山、樹齢推定1300年以上、高さ17m、直径2m、平成22年撮影）



# これまでも、これからも 町民と議会を結ぶ架け橋に

## 200号 記念

昭和47年1月に創刊した『とうべつ議会だより』は、48年の月日を重ね、第200号という記念すべき節目を迎えました。

手にとって読んでもらえる議会だよりを目指し、町民の皆様と議会を結ぶ架け橋になれるよう、今後も掲載記事や紙面の改善に努めていきます。



町民に寄り沿った議会の活性化・  
開かれた議会を目指して  
当別町議会 議長 後藤 正洋

当別町150年の記念すべき大きな年に、「とうべつ議会だより」も第200号という節目を迎えることとなりました。

第100号が発行された平成7年から今日まで、議会としての大きな取り組みの一つに「議会改革」があります。平成11年から今なお続く人口減少、平成15年度には町債残高が約197億円とピークを迎えた中、「議会改革」が始まりました。議員定数や議員報酬の削減はもとより、町民の皆様と議会との距離をより縮めるために情報公開にも積極的に取り組んで参りました。その一躍を担ってきたのが「議会だより」と考えております。

目まぐるしく変化する社会情勢の中、10年後、20年後を見据えながら町民の皆様と寄り沿った議会の活性化や開かれた議会を目指して、今後も不断の「議会改革」に努めて参ります。



創刊号（昭和47年1月発行）

当別 議会だより

No.50  
昭和57年12月  
発行 当別町議会  
編集 議会広報特別委員会



伊達和別館・旧伊達記念館オープン

議会の  
こうごえ

第50号（昭和57年12月発行）



とうべつ議会だより  
第200号記念に寄せて  
当別町長 宮司 正毅

「とうべつ議会だより」第1号は札幌冬季オリンピック開催と時を同じく創刊され、そして第200号が当別町150年を迎える大きな節目の年に発刊されますこと、心からお慶び申し上げます。

私もかつては議会広報特別委員会委員として編集に携わった一人ですが、就任して間もなく「議会改革に係る特集」記事に関わった際、「解りやすさ・透明性・町民目線」などのポイントを外さずに「親しみやすい記事にまとめ上げる」編集作業の奥深さを痛感した記憶が思い起こされます。そのような経験からも、48年もの長きにわたり編集に携わってこられた多くの関係者の皆様のご努力には深甚なる敬意を表する次第です。

議会、行政の動きを多くの皆様に伝える広報誌として重要な役割を担う議会だよりが、第200号発刊を契機に、更なる発展を遂げられますことを期待申し上げ、お祝いの言葉と致します。



とうべつ議会だより

目次

- ▶ 第100号発行記念特集 ..... 2～8
- ▶ 第8回定例会議案審議 ..... 9～10
- ▶ 第1回臨時議会 ..... 10
- ▶ 一般質問 ..... 11～17
- ▶ 採録・雑俎 ..... 18
- ▶ 委員会報告書 ..... 18
- ▶ 議会活動大一覧表 ..... 19
- ▶ 議会のこと ..... 20

記念特集号



発行/当別町議会 ■編集/議会広報特別委員会

第100号(平成7年3月発行)



益々住み良い町づくりの一途に

元議会広報特別委員会委員長  
(100号発行) 小武 正寿

定められた1年4回の定例議会を基に発刊200号となり、半世紀の長きにわたり、目的と役割を果たして来られた事に心からお慶び申し上げますと共に、その間、数多くの関係者のご苦勞に深く敬意を表します。創刊第1号の昭和47年1月の発刊(この時、町の「広報とうべつ」は既に220号)に携わった初代委員の一人、今尚お元気でられる堀 梅治さんに当時のご苦勞を伺いました。戦後の民主制時代とは言え、他市町村議会の発行は数少ない中で賛成多数は難しかった。また、これまで議員の権利である一般質問が実施されていない等の改革を決断し創刊となった。

目まぐるしく変わりゆく社会環境の中にあって、常に先取りで町民生活向上。町づくりと共に「関心のもたれる議会活動」が議会だよりを通してお茶の間の皆さんと益々住み良い町づくりの一途となりますようご祈念いたします。



第200号記念の刊行に当り

議会広報特別委員会委員長  
秋場 信一

議会だより第100号発行からの25年間は、当別町にとって人口の膨張と財政の緊縮が象徴的な歩みであったことが数字によく表れていると感じます。

「議会だより」は、時代とともに伝え方や表現を変化させてきました。また、町の行政広報との住み分けをしつつ、政策決定までの形成過程を伝えることを編集の根幹にしてきました。

議会だよりの未来に向けて元モニター3名の方にお祝いの言葉をいただきました。町民と議会との距離を縮め、探求を欠くことなく、あくまでも広報はその手段であることを後へ繋いでいきたいと考えています。

表紙は、風雪に耐え、1300年以上前から当別町を見つめてきた「見晴らしの水松」。未来に向け変わらず当別町を励まし続けてくれるであろう。想いを込め。

とうべつ議会だより No.150



第150号(平成19年8月発行)

(※敬称略)

歴代議会広報特別委員会委員

H7.5	◎湯浅 俊一	○保谷 幸男 (H7.5.28 逝去)
	柏樹 正	村上 弘志 (H7.6.26 副委員長就任)
	後藤 正洋	木屋路喜一郎
	小寺 和昭	島田 裕司
H9.6	◎菊崎 善雄 (H10.11.30 逝去)	○小寺 和昭
	柏樹 正	村上 弘志
	内海 英徳 (H10.12.17 委員長就任)	前澤 昭治
	木屋路喜一郎	島田 裕司
H11.5	◎島田 裕司	○小野 廣實
	小寺 和昭	桐井 信征
	市川 正	岡野喜代治
	白木 和廣	山田 明美

H13.6	◎島田 裕司	○小野 廣實
	小寺 和昭	桐井 信征
	市川 正	岡野喜代治
	白木 和廣	山田 明美
H15.5	◎小野 廣實	○岡野喜代治
	桑内 雅彦	白杵 英男
	石川 和榮	稲村 勝俊
	◎岡野喜代治	○白杵 英男
H17.6	◎岡野喜代治	○白杵 英男
	桑内 雅彦	小早川孝男
	石川 和榮	稲村 勝俊
	◎白杵 英男	○稲村 勝俊
H19.5	◎白杵 英男	○稲村 勝俊
	桑内 雅彦	小早川孝男
	石川 和榮	洞内真由美
	◎白杵 英男	○石川 和榮
H21.6	◎白杵 英男	○石川 和榮
	桑内 雅彦	小早川孝男
	稲村 勝俊	洞内真由美

H23.5	◎小早川孝男	○神林 俊一
	澁谷 俊和	宮司 正毅
	古谷 陽一	山田 明
	◎柏樹 正	○山田 明
H25.6	◎小早川孝男	○石川 和榮
	宮司 正毅 (H25.6.28 議員辞職)	古谷 陽一 (H25.8.9 委員就任)
	◎石川 和榮	○山崎 公司
	鈴木 岩夫	五十嵐信子
H27.5	◎石川 和榮	○山崎 公司
	鈴木 岩夫	五十嵐信子
	◎古谷 陽一	○佐藤 立
	秋場 信一	鈴木 岩夫
H29.6	◎古谷 陽一	○佐藤 立
	秋場 信一	鈴木 岩夫
	◎秋場 信一	○鈴木 岩夫
	西村 良伸	佐々木常子
R元.5	◎秋場 信一	○鈴木 岩夫
	西村 良伸	佐々木常子
	櫻井 紀栄	



100号から

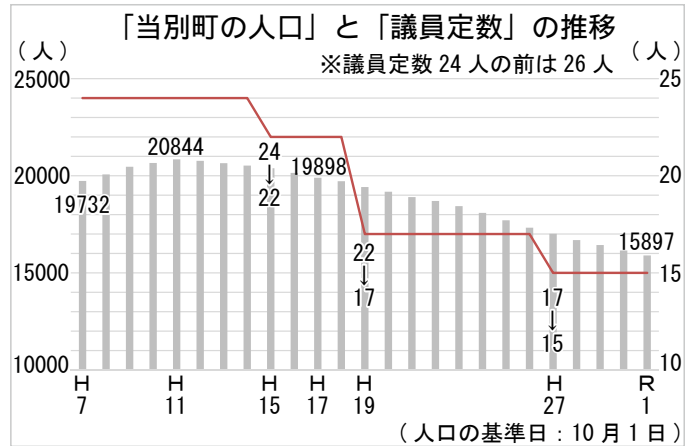
## 200号まで 議会の歩み

議会だより第100号が平成7年に発行されてから25年間、2つの大きな変化があります。1つ目は、多額のインフラ整備により町債残高が大幅に増加し、財政再建のための議員定数や期末手当などの削減がされたこと。2つ目は、

住民との距離を縮めるための議会改革として制度改正や情報公開があります。これら2つを中心に議会の歩みをまとめました。

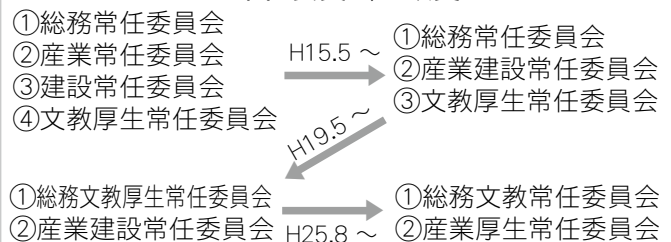
なお、当別町議会ホームページに過去の議会だよりを掲載していますので、ご覧ください。

平成7年3月	● 議会だより第100号記念発行
12月	● 第10回定例会で緊急質問
平成8年12月	● 札幌広域圏組合の設立に関する審査特別委員会設置(～H9.1)
平成9年10月	● 平成9年産米緊急対策特別委員会設置(～H10.2)
平成10年8月	● 政府米の買入を求め新たな米政策に対応する特別委員会設置(～H11.3)
平成11年9月	● 第6回定例会で議案3件否決
11月	● 第8回臨時会流会 ● 議員期末手当0.25月分減額、さらに単年度0.1月分減額
平成12年6月	● 議場にテレビカメラ導入、町民ホールにモニターテレビを設置
11月	● 議員期末手当0.15月分減額
平成13年11月	● 議員期末手当0.05月分減額
平成14年3月	● 学園都市線電化・複線化促進特別委員会調査終了(H5.6～) ● 当別大通整備促進審査特別委員会調査終了(H5.6～)
4月	● 議員の海外派遣凍結(～現在)
10月	● 議会初の「子ども議会」開催
11月	● 議員期末手当0.05月分減額
平成15年5月	● 議員定数削減(24人→22人) ● 常任委員会統合 ● 政務調査費交付開始
6月	● 会派制導入、会派代表者会議設置
12月	● 議員期末手当0.2月分減額
平成16年4月	● 議員期末手当単年度20%減額
平成17年4月	● 議員期末手当単年度20%減額
平成18年4月	● 議員期末手当単年度25%減額 ● 道外所管事務調査凍結(～H28.3)
平成19年4月	● 議員期末手当加算率30%減額、支給月数0.9月分増額 ● 議員期末手当単年度50%減額 ● 政務調査費凍結(～H22.3)
5月	● 議員定数削減(22人→17人) ● 常任委員会統合 ● 議会だより第150号発行
平成20年4月	● 議員期末手当単年度40%減額
平成21年4月	● 議員期末手当単年度10%減額



第2回子ども議会(平成15年10月)

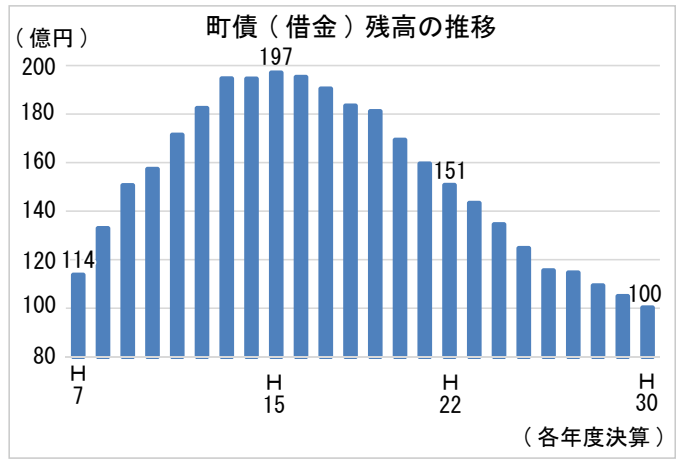
## 常任委員会の改変



第1回当別町議会報告会(平成25年3月)



- 平成 21 年 6 月 ● 学園都市線電化促進  
特別委員会設置 (～ H24.12)
- 平成 22 年 4 月 ● 議員期末手当単年度 10%減額  
● 政務調査費単年度 20%減額
- 平成 23 年 4 月 ● 議員期末手当単年度 10%減額  
● 政務調査費単年度 20%減額
- 11 月 ● 第 5 回臨時会で懲罰動議可決、  
懲罰特別委員会設置
- 12 月 ● 第 6 回定例会で懲罰動議可決、  
懲罰特別委員会設置
- 平成 24 年 1 月 ● とうべつ議会だより号外発行
- 2 月 ● 「政務調査費の手引き」策定  
(H25.4改正「政務活動費の手引き」)
- 3 月 ● 議長公用車廃止
- 4 月 ● 議員期末手当単年度 10%減額  
● 政務調査費単年度 20%減額
- 6 月 ● 当別町議会議員政治倫理条例制定  
● 平成 23 年度政務調査費の  
監査請求に関する決議可決
- 9 月 ● 平成 23 年度政務調査費  
返還勧告決議可決
- 10 月 ● 産業建設・総務文教厚生合同  
常任委員会開催 (～ H24.12)
- 12 月 ● 「政務調査費」を  
「政務活動費」に名称変更
- 平成 25 年 1 月 ● 当別町議会改革推進  
協議会設置 (～ H26.6)
- 2 月 ● 議会だよりで議案に  
対する賛否を公開
- 3 月 ● 政務活動費の精算払い導入  
● 議会初の議会報告会開催
- 4 月 ● 議員期末手当単年度 10%減額  
● 政務活動費単年度 20%減額
- 8 月 ● 常任委員会名称変更
- 平成 26 年 4 月 ● 議員期末手当加算 (15%) 廃止
- 平成 27 年 5 月 ● 議員定数削減 (17 人→ 15 人)
- 9 月 ● (試行)「本会議」の  
インターネット中継開始
- 12 月 ● 「本会議」の  
インターネット中継開始
- 平成 29 年 12 月 ● (試行)とうべつ議会だより  
モニター制度導入 (～ H30.12)
- 当別町公共施設に関するあり方  
検討特別委員会設置 (～ 現在)
- 平成 30 年 3 月 ● サタデー議会開催 (議員協議会)
- 7 月 ● 「本会議」の会議録の  
ホームページ公開開始
- 9 月 ● 「会期中の常任委員会」・「決算  
審査特別委員会」のインター  
ネット中継開始
- 平成 31 年 3 月 ● 「予算審査特別委員会」の  
インターネット中継開始
- 令和 2 年 2 月 ● 議会だより第 200 号記念発行



議会改革推進協議会の研修会 (平成 25 年 9 月)



サタデー議会 (平成 30 年 3 月)

当別町議会ホームページ (「当別町議会」で検索)



# 議会改革

## 町民の声に応えるために

### なぜ議会改革を始めたのか？

平成 15 年、当別町は、新篠津村・月形町との任意合併協議会を解散し、自立を目指して行財政再構築プランの策定にとりかかり、そのパブリックコメント（住民の意見）で「経費を削減するのなら、議員定数、議員報酬を先に削減すべきだ」との声がありました。

平成 16 年 12 月に当時の議長は、「議会もできることがあるはず」と考え、町民の理解を得られるような意見集約を議会運営委員会に付託しました。

#### 議会運営委員会

- ①議員定数削減
- ②議員報酬削減
- ③常任委員会の数の見直し など

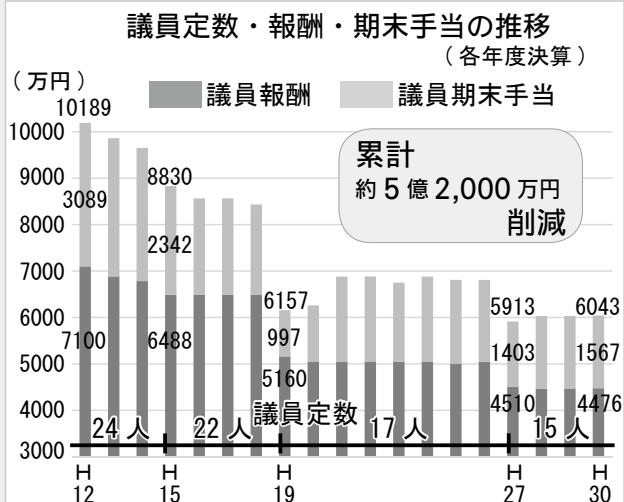
#### 議会改革推進協議会

設置目的…議会改革に関する事項を議長を除く議員全員で協議し、さらなる議会改革の取り組みを推進

- ①議会基本条例制定
- ②議員定数削減
- ③住民との意見交換会（平成 25 年 3 月議会報告会開始） など

協議会解散後も議会運営委員会で情報公開や議会報告会など議会改革について検討しています。

### 議員定数・報酬・期末手当の削減



全議員の「議員報酬」と「議員期末手当」の総額は、平成 12 年度決算では 1 億 0,189 万円でしたが、平成 13 年度以降に議員定数・議員報酬・議員期末手当を削減したことにより、平成 30 年度決算では 6,043 万円と 4 割を超える減額となっています。

仮に、平成 12 年度と平成 13 年度から平成 30 年度までの各年度の決算を比較すると、削減による総額の試算は、累計で約 5 億 2,000 万円となります。

### 情報公開

#### 議会インターネット中継開始

「本会議」「会期中の常任委員会」「予算審査特別委員会」「決算審査特別委員会」のライブ中継と録画中継を開始

#### 議案に対する賛否の公表

「どうべつ議会だより」で議案の賛否が分かれた場合に公表

#### 議事録のホームページへの掲載

当別町議会ホームページに「本会議」の議事録を掲載

#### 「どうべつ議会だより」の充実

モニター制度を導入し全てのページをリニューアル

#### 会議日程の公表

各定例会の日程を速やかに公表

#### 会議資料の配布・ホームページへの掲載

会議日程や一般質問要旨などの一部を配布・掲載

### 政務活動費

#### 政務活動費を概算払いから精算払いに変更

「政務活動費」とは、会派または議員の調査研究に資するための必要な経費として、当別町では、一人当たり年間 12 万円を上限に交付しています。

政務活動費は、以前、年度当初に全額を交付（概算払い）していましたが、用途基準に合致しない支出があり、返還請求に至ったケースがありました。そのため、当時、他の議会ではほぼ採用されていなかった精算払いを導入し、議員が支出報告書と証拠書類を提出し、確認後に政務活動費を交付することにしました。

### 引き続き検討する主な項目

- 本会議及び委員会の夜間・土日開催
- 議会報告会の継続とあり方
- 過去の情報（日程・会議資料・議決結果・録画・議事録等）の掲載
- 政務活動費のあり方 など



# これからの議会だより

とうべつ議会だよりモニターを務めていただいた3名の方からメッセージをいただきました。



## 意見の反映の早さに驚いた

元とうべつ議会だよりモニター 宮入 淳誌

この度、「とうべつ議会だより」の第200号が発行されましたことに、心よりお祝い申し上げます。

第1回目のモニター会議では、議会だよりの読みやすい所、読みづらい所、気になった点などを意見させていただきました。後日、議会だよりの最新号が発行され、拝見いたしましたところ、私の意見が反映されており、意見の反映の早さに驚きました。その後、何度もモニター会議を重ね、更に議会だよりが読みやすく、分かりやすくなっていく過程が楽しく感じました。1年間貴重な経験をさせていただきまして、ありがとうございました。

議会広報特別委員会の皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



第1回モニター会議 (H29.12.6)



第2回モニター会議 (H30.8.30)



## 幅広い世代に関心を持って

もらえるような議会だよりに

元とうべつ議会だよりモニター 戸来 興貴

とうべつ議会だよりが200号を迎えられますこと、お祝い申し上げます。

私は、議会だよりモニターとして町内のメンバーと広報特別委員会の皆さんと共に数回会議に参加しました。自身に関わる事になり、より関心を持って読む様になっていきました。

回を重ねる毎に、表現や内容が変わり、誰が見ても分かり易い紙面となっていたのは、委員の皆さんの熱意があつての事だと思います。

また、議会だよりが外部から評価され、他町村からリニューアル状況を視察にいられたと聞き、嬉しく思いました。

これからも幅広い世代に関心を持ってもらえるような議会だよりとなるよう、ご活躍ご期待申し上げます。



## スピード感・行動力ある真摯な対応

元とうべつ議会だよりモニター 松岡 宏尚

「とうべつ議会だより」第200号の発刊おめでとうございます。そして議会だよりにモニターとして関わらせていただき、誠に有難うございました。

モニター会議では「どのようにすれば、町民の皆様により関心を持っていただくことができるか」「正確に伝えられるか」このような観点から、老若男女、様々な方々が様々な意見を出しながら数度の会議が行われましたが、会議の度に、今の時代に重要だと言われるスピード感・行動力を持って真摯に対応されていたのが印象的です。どんどんブラッシュアップされていく内容に、驚かされておりました。

今後も変わらない皆様のご活躍を祈念しております。



第3回モニター会議 (H30.12.10)

次のページは

常任委員会等審議

本会議前に、

委員会で説明と審議が行われます。



総務文教常任委員会(11/26、12/4)、産業厚生常任委員会(12/5)を開催し、町から

## 当別町 150 年記念事業

令和2年、当別町は仙台藩岩出山領主、伊達邦直公が入植してから150年の節目を迎えます。

令和元年12月中に、若い世代を中心とした実行委員会を立ち上げ、150年記念事業や「当別町150年記念」の冠<sup>かんむり</sup>を付けた事業などの企画・実施をしていく予定であるとの説明がありました。



当別町150年記念メッセージキャンバス

総務  
文教

### 幅広い世代から意見を

問

若い世代を中心に取り組むとのことだが、幅広い世代からの意見をどう吸い上げ、みんなで150年記念事業を考えていくのか。

答

町民アンケートで様々な意見を吸い上げ、また、実行委員会の中で、これまで当別の歴史を築かれてきた方々の意見をいただき、反映させるような場を検討していきたい。

総務  
文教

### 記念事業の役割分担

問

150年記念事業となると姉妹都市との関係もあるが、若い世代で対応するのは難しいのでは。

答

記念式典や姉妹都市の接遇は、町が中心と

なっていく予定。実行委員会で考えてもらう部分は、町民からの意見を集約し、町民の方々が楽しめるようなイベントの企画、立案である。

## 当別町空家等対策協議会



当別町空家等対策協議会

産業  
厚生

### 空家等対策計画案のパブコメ

問

11月に空家等対策計画(案)のパブリックコメントを実施したとのことだが、どの団体に行ったのか。また、いただいたコメントはホームページ等で周知しているか。

答

特に団体に限定せず、町民に広くパブリックコメントを実施した。また、いただいたコメントの周知については、パブリックコメント(意見等)がなかった。

産業  
厚生

### 議論している空き家件数は

問

空家等対策協議会で議論している空き家の件数は。また、勧告など早急な対応が必要な件数は。

答

協議会の事務局で調査し、把握している件数は

約70件。平成26年度から町内会や住民の方から、特に苦情のある空き家について、様々な相談や指導などを行っている。早急に対応しなければならない空き家は、今のところない。

総務文教  
常任委員会

### 当別小学校を視察

11/26 町内所管事務調査

当別町一体型義務教育学校が建設された後の当別小学校の利活用について、校舎や体育館の視察を行いました。



当別小学校の体育館



令和元年度補正予算や条例制定等の提案説明や報告などがあり、質疑が行われました。

## 国民健康保険

次のページは  
一般質問 4人の議員が登壇し、  
15項目の質問をしました。

産業  
厚生

### 国保会計の増額補正理由

国民健康保険特別会計で7,155万円を増額する補正予算案の説明があり、それに対する質疑が行われました。

問

保険給付費や高額療養費の支出が増えると説明があった。金額的に大きい。制度的に増えたのか。または、当初予算の見込みとのズレによって増えたのか。

答

医療給付を受ける方が増え、月約1億2,000万円を見込んでいたが、半年の執行状況では月平均約600万円上回っており、残り半年も同程度増えると見込んでいる。

産業  
厚生

### 国保統一保険料の時期は

国民健康保険の保険料は、将来的に、道内のどこの市町村に住んでも所得・世帯構成が同じ場合は同じ保険料になることを目指しています。

問

国民健康保険の保険料について、最後に目指すのは統一保険料ということだと思うが、いつ頃なるのか。

答

北海道から具体的な年限は示されていない。道内の179市町村は、それぞれ保険料が異なるため、道が各市町村に聞き取りをして、方針を決めることになっている。

## その他の質問

総務  
文教

### 大崎市への義援金 300 万円

問

大崎市への義援金で、前回の大崎市の地震の時は4,000万円、平成30年の宇和島市は1,000万円だった。被害の大きさから見て大体妥当と思うが、どのような基準で300万円と算定したのか。

答

災害規模の見合いから算定し、併せて大崎市に姉妹都市が多数あり、情報共有をした中で300万円が妥当であるということによって提出をした。



令和元年10月の台風19号により浸水被害が発生した大崎市鹿島台地域志田谷地地区（大崎市提供）

産業  
厚生

### 中央十九線防雪柵設置事業

問

十九線の防雪柵設置工事の当初予算は。

答

当初予算は4,000万円、そのうち60%の交付金をもらえるということで、2,400万円の見込みで国に要望していた。4月に国から決定額

の通知が来た時には約743万円と、かなり減額された交付決定額となり、それに伴い、発注もその交付金にあわせて縮減し、約2,400万円の工事費で発注したという経過である。

総務  
文教

### 退職職員の勤務年数

問

補正予算の説明で、退職した職員が4名いたとのことだが、その中に春に採用された人が入っているのか。また、辞めた職員の勤務年数はどのくらいだったのか。

答

予算ベースで4名分。内訳は、内定の辞退者が2名と20代で勤務4年程度の者が1名、30数年務めた者が1名である。

【その他の主な質問項目】  
当別小学校の跡地利用の検討（総務）、年金生活者支援給付金の対象者（産業） など





## 一般質問

山崎 公司 議員

質問の  
ねらい

### 当別町 150 年後世に歴史を伝える

150 年に向けて、後世に歴史を伝えるために地域の由来・移住時期また輸送手段の 3 ルートについて記念誌やパネル展で紹介することが必要。現時点での事業計画と併せて質した。公共施設の平成 30 年度の利

用者数、特に町外の利用者はどのくらいか。65 歳以上が無料だが、年齢と町外利用料の見直しをしてはどうか。全国学力・学習状況調査で、生活習慣の改善項目があり改善に向けての取り組みについて質した。

ここを  
聞きたい

### 子ども達の企画案の実現を

**問** プレイブントで発表された小中学校生・高校・大学生の企画案を実現するために、どのように対応しているか。現時点での事業の計画・企画、PR 策の企画・検討、実現の具体化が必要では。

**答** 若者の企画したアイデアを是非実現したい。現時点で来年（令和 2 年）10 月に 150 年記念式典を予定。その他、自衛隊の音楽隊演奏会、スウェーデンマラソンなどを記念事業として考えている。

ここを  
聞きたい

### 記念誌やパネル展の実現を

**問** 全国各地からの移民により地域の発展に繋がり、その地域の由来と移住時期を記念碑の写真と共に、また輸送手段の 3 ルートについても記念誌やパネル展で紹介することが必要では。

**答** 町の歴史を伝えていくことは大切。開拓郷土館あるいは伊達記念館のリニューアルも含め来年（令和 2 年）行われる 150 年の関連事業として方向性をしっかり明らかにしていきたいと考えている。

ここを  
聞きたい

### 町民参加で盛り上がり

**問** 多くの町民参加で盛り上げるために、今年（令和元年）の 70 回文化祭同様、当別音頭と若い世代の踊り、歌のグループ、姉妹都市の文化を表現したパレードを期待する町民の声が多いが、実現しては。

**答** 来年（令和 2 年）150 年、例年にも増して盛り上がる文化祭となるよう教育委員会及び主催の文化協会と一緒に協働していきたいと考えている。



江当軌道株式会社当別停車所（当別町史より）

ここを  
聞きたい

### 公共施設利用料の見直しを

**問** 公共施設（総合体育館・両コミセン他）の平成 30 年度の利用者数、特に、町外の利用者はどのくらいか。65 歳以上が無料だが、年齢と町外者の利用料の見直しをしては。

**答** 利用者約 15 万人うち約 2 割が町外の方と報告を受けた。施設の維持管理費用、利用料の見直しを行う際に発生する諸費用などを考慮しながら各施設ごとに適宜検討していきたいと考えている。

ここを  
聞きたい

### 生活習慣の改善を

**問** 基本的な生活習慣 6 項目が小中学校共、全国平均よりかなり劣っており改善が必要。具体的な取り組みをしているか。

**答** 8 月に学校へ調査結果の詳細な分析とそれに基づく改善プランの作成を指導。現在そのプランに基づき取り組んでいる。

【その他の主な質問項目】  
全国学力の分析結果を踏まえて今後の更なる学力の底上げと教科の改善策 など



# 一般質問

佐々木 常子 議員



質問の  
ねらい

## 安心、安全の当別町に！！

本年1年間だけで激甚<sup>げきじん</sup>災害が何度もあり今まで起こらなかったような災害が起こるようになってきた。1人1人が備えていくことが大事で、当別町としてもできる限りの防災減災対策をしていくことが大切。ゴミ

問題は重大で、できる限りリサイクル、資源化していくことが大事である。近年、死亡原因1位は悪性新生物（がん）である。早期発見できれば命を救い、治すこともできる。がん対策を進めていくべきと考える。

ここを  
聞きたい

## マイタイムライン全戸配布

**問** 災害が起こった時、避難するには勇気と決断が必要。マイタイムラインを作成し避難訓練をしていくことが大切。マイタイムラインのひな型を作り、全戸配布していくことが大切では。

**答** 研究は既に進めている。防災マップに警戒レベルや気象情報、河川の危険水域などを示したマイタイムラインのひな型を掲載し、来年（令和2年）度に作成し全戸配布する予定。

ここを  
聞きたい

## ペット同行避難の対策は

**問** ペットの同行避難をするには、例えばペットを受け入れる避難所を設けるなど、何らかの対策を練っておくことが大事であり、またその周知徹底が大切では。

**答** 大災害があった場合に優先されるべきことは、まず何よりも人命である。動物の嫌いな方やアレルギーの方もいるので、避難所の規模や構造を十分考慮し、対応していくしかないと考える。

ここを  
聞きたい

## 液体ミルクの備蓄は必要

**問** 液体ミルク他、乳幼児用品の備蓄について株式会社ラルズとの提携があると言っても時間がかかる場合も考えられる。町外からたくさんの方が集まる道の駅だけでも備蓄してはどうか。

**答** 各家庭で確保するのが原則ではあるが、次年（令和2年）度以降、必要最低限の液体ミルクあるいは授乳用品の備蓄について検討したい。置くならまずは福祉避難所であるゆとろと考えている。

ここを  
聞きたい

## リサイクル事業の拡充を

**問** シュレッダーごみのリサイクルについて、町内会では対応がさまざま。明確な対応が必要では。また、花草の土へのリサイクルは、町民の声も多い。このようなリサイクル事業に対する考えは。

**答** シュレッダーごみも資源回収の対象であることを理解いただき、資源回収の利用を促進していく。また、枝葉や草木の資源化は費用対効果も含めてどこまで有効かはこれから研究を進めたい。



早期発見のための乳がんグローブ（本人提供）

ここを  
聞きたい

## 乳がんの自己検診普及を

**問** 乳がん<sup>りかん</sup>の罹患率が若い世代を中心に年々増加。自己検診の普及啓発、早期発見のため乳がんグローブを配布しては。

**答** がん予防の啓発物としては非常に高価なものであり、現時点では考えていないが、自己検診の必要性は今後も啓発を行う。

### 【その他の主な質問項目】

万が一被災した場合の支援の周知、がん検診受診率向上対策は、ゴミステーション購入補助



## 一般質問

五十嵐 信子 議員

質問の  
ねらい

### 住み慣れた地域で最後まで暮らす

超高齢社会に対応した地域包括、介護が必要になっても支え合い安心して暮らせるためには、きめ細やかな配慮が必要だが相談窓口増設の考えはあるか。また、介護リスクを減らす「フレイル<sup>※</sup>予防」は、町民に

とって大切なことで、どう取り組みをしていくのか。認知症への正しい理解が広がるよう講演会や子どもから大人まで和やかに自然に触れ合える機会を増やし、除雪に関しても更に支え合いができないか質問した。

ここを  
聞きたい

### 最後まで笑顔の安心暮らし

**問** これからも増え続けていく高齢者や認知症の方に対して、どのような課題があると分析しているのか。

**答** 認知症の方の周りの方が、認知症への理解を深め、症状に合ったケアができるようサポートすること。認知症サポーターを養成し、家族のケアを手助けできる体制を整えること。

ここを  
聞きたい

### 地域包括支援センター増設

**問** 介護が必要になっても安心して住み慣れた地域で暮らせる町づくりを進める上で、大事な拠点となる。西当別地区においても近所で気軽に困りごとや介護相談ができればとの声への考えは。

**答** 今ある地域包括支援センターは、24時間の電話相談に対応する体制を整えており、必要に応じ訪問支援をする体制ができています。限られた財源の中で現時点では増やす考えはない。

ここを  
聞きたい

### フレイル予防でいきいきと

**問** フレイルとは誰もが加齢とともに起こり得る筋力と活力の衰えを意味する。フレイル予防で介護リスクを減らすことはとても重要だが、町の見解と取り組みは。

**答** 人生100年時代に合わせて健康寿命をいかに延ばすかの取り組みと認識している。自立支援に向けたケアの啓発やそのような機会をつくっていくということが肝要であると考えている。

ここを  
聞きたい

### 予算を確保し有益な機会を

**問** 認知症サポーターの会員数も増え活躍の場を増やす努力もしているが、これまで以上に本人、家族、周囲の方々へ正しい理解の輪が広がるよう講演会や和やかに触れ合う機会を増やすべきでは。

**答** 認知症ケアパスの全世帯配布、認知症サポーター養成講座の拡充、早期発見のための模擬訓練、町民向けのセミナーなど認知症対策では先進的に実施してきていると認識している。

ここを  
聞きたい

### 支え合いの除雪対策

**問** 毎年、家の前の置き雪に悩まされているとの声が多い。町内会へ助成し、支え合いの仕組みの事例を参考にモデルを作るべきではないか。

**答** 社会福祉協議会の事業として、既に町内会と組んで高齢者世帯向けの除雪について支え合い、助け合い活動を行っている。



当別町社会福祉協議会が実施する地域支え合い助成事業を活用した町内会の除雪

※フレイル(虚弱)…年をとることに伴い心や身体の活力が衰え、そのままにしておくと寝たきりなどを招くおそれがある状態。



# 一般質問

鈴木 岩夫 議員



次のページは

議案審議の結果 定例会では討論・採決が行われました。

質問の  
ねらい

## 急いで人口減少対策を

これ以上の人口減少にストップをかけるために、「子育て世帯の移住促進のために住宅取得に対する支援を」「乳幼児医療の『通院費』助成の拡大を」。そして、これ以上転出者を出さないために、「高齢者、障

がい者が安心して住み続けられるバリアフリー化の推進を」急いで実施すべきと質した。また、これ以上農家戸数を減らさないために、負債農家に対する支援も質した。

ここを  
聞きたい

## 住宅取得に対する支援を

問

乳幼児医療の「通院費」助成の拡大とは別に、江別市や北広島市に学んで「子育て世帯の移住促進のため」に住宅取得に対する支援を実施すべきではないか。

答

住む場所、家を建てる場所の確保に目途がついたときに合わせて支援を実施することが最も効果的であると考えており、研究を進めているが、最終的な支援制度は、まだ固まっていない。

ここを  
聞きたい

## 実施するということか

問

住環境整備と乳幼児医療の助成拡大、併せて子育て世帯の移住促進のために住宅取得に対する支援を実施する方向なのか。

答

住宅ができ、子育て世代が増えれば、間違いなく経済効果が出てくる。住環境の整備、子育て世代の増、乳幼児の増などの目途がついた段階に応じて全部制度化し、やる方向で考えている。

ここを  
聞きたい

## バリアフリー化を急いで

問

これ以上転出者を増やさないために、高齢者、障がい者が安心して住み続けられるバリアフリー化の推進を急いで実施すべきではないか。

答

太美駅前のロードヒーティング化は、高齢者や障がい者の方が安心して歩くために、また、人口増の方策として必要。現在進めている住環境整備しんちやうくの進捗しんちやくに合わせて1つずつ進めていきたい。



石狩太美駅前

ここを  
聞きたい

## 負債農家に対する支援を

問

「負債整理資金」を借りる農家が増えていると聞く。これ以上農家戸数を減らさないために、負債農家に対する支援「負債整理資金の利子補給」を実施すべきではないか。

答

利子補給という個人々人への支援ではなく、農地集積、担い手対策、スマート農業推進等の農業全体のレベルアップが当別の農業を強くすることであり、町がやらなければならないことと考える。

ここを  
聞きたい

## 急いで中央排水の整備を

問

中央排水は、過去かみには改修が行われているが、下しもはいまだ行われていない。急いで整備すべきではないか。

答

国や北海道と連携して対応するが、現状の中央排水については、その都度の維持補修等で問題ないものと考えている。

【その他の主な質問項目】  
教職員の変形労働時間制、150年

一体型小中一貫教育、当別

# 令和元年第 4 回定例会

日程：12月3日～12月10日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

傍聴人数 23 人 議会中継視聴回数 175 回 (1/21 現在)

結果  
掲載ページ

【議員提案】			
令和元年台風 19 号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書	◎	—	
「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書	◎	—	
【専決処分】			
一般会計補正予算（第 4 号） 姉妹都市大崎市における災害に対し、対応に係る経費を補正し専決処分をしたので、報告し承認を求めるもの	◎	p.9	
【補正予算】			
一般会計補正予算（第 5 号） 3 億 8,586 万円を増額し、総額を 113 億 5,392 万円とするもの	◎	p.9	
国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号） 7,155 万円を増額し、総額を 21 億 4,144 万円とするもの	◎	p.9	
後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） 188 万円を増額し、総額を 2 億 3,741 万円とするもの	◎	—	
下水道事業特別会計補正予算（第 1 号） 163 万円を減額し、総額を 8 億 9,846 万円とするもの	◎	—	
水道事業会計補正予算（第 1 号） 収益的支出で給料を 13 万円増額等するもの	◎	—	
【人事案件】			
選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について 地方自治法の規定により議会が指名推選するもの 【委員】高橋 雄三 氏、木屋路 喜代史 氏 千田 良子 氏、堤 和弘 氏 【補充員】第 1 順位…泉 吉満 氏 第 2 順位…明石 実 氏 第 3 順位…大越 茂樹 氏 第 4 順位…神田 設 氏	◎	—	
教育委員会委員の任命について 任期満了となる寺田 郷子 氏を再任するもの	◎	—	
人権擁護委員の候補者の推薦について（2 件） 任期満了となる橋本 俊一 氏及び宮崎 直高 氏を再推薦するため、議会の意見を求めるもの	◎	—	
【条例】			
当別町職員の給与に関する条例の一部改正 職員の給与の改定等を行うため、条例の一部を改正するもの	◎	—	
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、関係条例の一部を改正するもの	◎	—	
当別町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定 地方公務員法等の一部改正に伴い、会計年度任用職員の給与及び費用弁償について条例で定める必要があるため、条例を制定するもの	◎	—	
【請願・陳情】			
《令和元年第 3 回定例会（9 月）総務文教常任委員会へ付託》 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書の採択を求める請願書 〔提出者〕新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他 4 団体 〔紹介議員〕当別町議会 議員 澁谷 俊和、議員 鈴木 岩夫	不採択	p.14 討論①	
《令和元年第 3 回定例会（9 月）産業厚生常任委員会へ付託》 マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書の採択を求める請願書 〔提出者〕全日本年金者組合当別支部 支部長 相馬 ひろ子 他 4 団体 〔紹介議員〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫	不採択	p.14 討論②	
《令和元年第 4 回定例会（12 月）産業厚生常任委員会へ付託》 屋根が平らでストレートに雪が落ちる古い町営住宅に、玄関フードを設置してもらおう、あるいは、既に玄関フードを設置した家庭に対しては、その費用を支払ってもらおう陳情 〔提出者〕荒田 讓	継続	—	

**討論** ①  
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書の採択を求める請願書

採択すべき 鈴木議員



国内外の連帯を強め、核兵器のない世界を実現するために力を尽くすべき。

不採択すべき 山田議員



条約の参加は、アメリカの抑止力を損ない、結果、日本国民の生命・財産が危険にさらされる。

採択すべき 澁谷議員



広島、長崎だけでなく、水爆実験で第五福竜丸の船長含めて日本人が大きな被害を受けている。

不採択すべき 高谷議員



日本は、核保有国のアメリカと安全保障条約を締結している同盟国。現政府の立場を支持する。

採択すべき 島田議員



日本は、核兵器に頼らない安全保障環境をつくり出すよう強いリーダーシップをとるべき。

不採択すべき 岡野副議長



日本は核兵器拡散防止条約、核軍縮のもとに新たな枠組みで世界に核不拡散を呼びかけるべき。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	高谷	島田	岡野
○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。  
※「—」は退席。

**討論** ②  
マクロ経済スライドの廃止で「減らない年金」の実現を求める意見書の採択を求める請願書

採択すべき 鈴木議員



現役世代の賃上げや正社員化による保険料収入のアップなどで年金財政の改善を進めるべき。

不採択すべき 稲村議員



持続可能な年金制度として維持するためにマクロ経済スライドは必要な制度。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	高谷	島田	岡野
○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。  
※「—」は退席。



# 町民との懇談で多くの要望

## ～第13回議会報告会～

令和元年11月18日(月)に、議会改革の一環として、より開かれた議会を目指し、第13回議会報告会を総合保健福祉センターゆとろで開催しました。

今回の議会報告会は、新しい総合計画策定にあたり、町がヒアリングを実施した14団体を対象に、定例会や臨時会の報告と「新し

い当別町総合計画に関するフリートーク」と題した懇談が行われ、参加された町民の皆様から、たくさんの要望などをいただきました。

なお、いただいた要望については、総合計画に反映していただくよう12月10日(火)に後藤議長から宮司町長へ提出しました。

要望については、以下のとおりです。

### 成年後見支援センター

・石狩管内では、当別町と新篠津村を除き、全市が設置済みとなっており、潜在的なニーズは現時点でもあるので、制度の利用を促進していくためには、専門職を配置した上で成年後見制度に関する相談対応や申し立て等の支援をしっかりとできる体制を整え、加えて市民後見人の養成や活動の支援、住民の醸成、町民への制度の普及啓発などを総合的に「成年後見支援センター」を早急に設置するなど体制強化を期待している。

### 観光

・観光の戦略について、当別町として観光をどう位置づけるのか。目標を計画の中で明らかにしたほうが良いと考えている。  
・観光協会の組織について会長はいるが事務局は役場の職員となっており、人事や予算など会長の判断では難しいことがある。観光協会を民間化、社団法人にするなどそういう方向性で考えてみてはどうかという結論に至った。そうすると観光のエキスパートを育てることができる。  
・150年を機会に歴史看板の設置や自然の看板など町の特徴がわかるような看板があると観光的に親切的な設備となると思う。

### 学校教育とスポーツ団体の連携

・学校教育とスポーツ団体の連携を深め、子どもたちの潜在能力を引き出し、良好なスポーツ環境を創出するということを盛り込んでいただきたい。

### 人材育成

・町内に北海道医療大学がある優位性を活かし、高大連携、高大の付属化、小中高の連携等を含め、当別から人が流出しないよう、人材育成に取り組むことを主眼に置いていただきたい。

### 福祉教育

・小中一体型義務教育学校が設立され、独自の一貫したカリキュラムを策定する中で、小学校低学年のうちから福祉というものについて、心を醸成するようなものを当別の教育の柱としていただきたい。

### 良好なスポーツ環境の創出

・グループインタビュー時に要望した『子供から高齢者まで、スポーツを通じた健康づくりを推進していきたい。』を『幼少期から生涯にわたる運動習慣の確立を目指し、スポーツを通じた健康づくりを推進したい。』という文言に修正していただきたい。

### 文化・スポーツ活動の振興

・近年、児童数の減少に伴い、スポーツ少年団の人数が減ってきており、当別と太美地区に2チームあったのが、統合を余儀なくされている。このことに対して町の支援を検討していただきたい。  
・今後、小学校が新しくなるので、課外活動、スポーツ活動についても総合計画に盛り込んでいただきたい。

### 地域福祉の推進(移動支援)

・移動支援について、小さな事業所だけでなく、社協のヘルパーステーションの方たちや福祉タクシーをやっていただいている方たち等と力を合わせながらニーズにこたえられるような具体的に協議する場を設けていくことが必要と思っている。「移動(移送)支援」は、喫緊の課題である。計画の中で具体的な形にしてほしい。  
・要支援の方が災害にあった場合、どのような形で情報が得られるのか、次に情報が得られたときに誰がその方たちに手を差しのべるのか、自分たちだけでいけない方の支援の形を早急に作っていただきたい。

### 新しいまちの顔づくりプロジェクト

・第5世代移動通信システムもかなり具体的なことが書かれているが、10年後どうなっているかわからないと思うので、文言をもう少し精査した方がよい。

### 農業人口の減少対策

・老朽化した町営住宅の跡地を利用し、無償で提供するなどして人口を守ることも大切だと思う。今、若い当別の農業者は、結婚すると江別や札幌に住居を求めて出て行ってしまふ。農業人口が減っていく中で、なおかつ農業者が外に出てしまう状況である。当別町の人口を減らさない対策を要望する。

総務文教  
常任委員会 **校舎一体型義務教育学校を視察**  
10/24・25 道内所管事務調査

白糠町では、小中一貫教育と一体型義務教育学校「白糠町立庶路学園」について、標茶町では、子育て世帯への支援について視察を行いました。



一体型義務教育学校「白糠町立庶路学園」

公共施設  
特別委員会 **地元木材 100%の新庁舎を視察**  
10/28・29 道内所管事務調査

芽室町では平成31年に策定し、東神楽町では平成30年に策定した立地適正化計画について、当麻町では、平成30年に地元木材を100%使った新庁舎建設について視察を行いました。



当麻町の役場庁舎

**議会のうごき（令和元年11月～令和2年1月）**

- |  |                                   |
|--|-----------------------------------|
| 11月 14日 議会運営委員会  | 12月 4日 総務文教常任委員会                  |
| 15日 古平町議会行政視察来庁  | 5日 産業厚生常任委員会                      |
| 18日 議会報告会（ゆとろ）   | 6日 第4回定例会                         |
| 19日 会派代表者会議  | 10日 議会運営委員会 議員協議会                 |
| 20日 産業厚生常任委員会 議会広報特別委員会<br>愛媛県宇和島市議会議長・副議長表敬訪問<br>来庁           | 第4回定例会 議員協議会<br>会派代表者会議 議会広報特別委員会 |
| 25日 議会運営委員会  | 25日 議会広報特別委員会                     |
| 26日 総務文教常任委員会道内所管事務調査  | 1月 9日 議会広報特別委員会                   |
| 12月 3日 議会運営委員会 議員協議会 第4回定例会<br>公共施設に関するあり方検討特別委員会<br>議会広報特別委員会 | 16日 議会広報特別委員会                     |
|  | 21日 愛媛県宇和島市議会行政視察来庁               |
|  | 24日 会派代表者会議                       |

**議会を傍聴してみませんか**

令和2年3月定例会のご案内

予定 **3月3日（火）～3月18日（水）**  
内容 **新年度予算、一般質問**など  
傍聴 **本会議**や**委員会**も傍聴できます。  
※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

**どこからでも議会が見られる**

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



**ご意見ご感想をお寄せください**

**議会事務局**

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9  
TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474  
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

**議会広報特別委員会**

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 秋場 信一  |
| 副委員長 | 鈴木 岩夫  |
| 委員   | 西村 良伸  |
| 委員   | 佐々木 常子 |
| 委員   | 櫻井 紀栄  |

**編集後記**

昨年5月1日に令和元年が始まりましたが町議会議員の任期初日ともなり9カ月が経過しました。また、今回議会だよりの発行が200号となります。更に今年は、入植以来150年も迎えるなど記録に残る事が続きます。

これから始まる3月議会では、令和2年度の予算案の審議や町の政策の基本となる「第6次総合計画」、「まち・ひと・しごと創世総合戦略」などに関する質疑が予定されております。

このような議会の動きを解りやすく皆様にお伝えできるよう、私たちは一層努力して参りたいと思います。

議会広報特別委員会 委員 西村 良伸